

# ひふみのあゆみ



ひふみワールド 追加型投信/海外/株式

## 2021年5月度 月次ご報告書

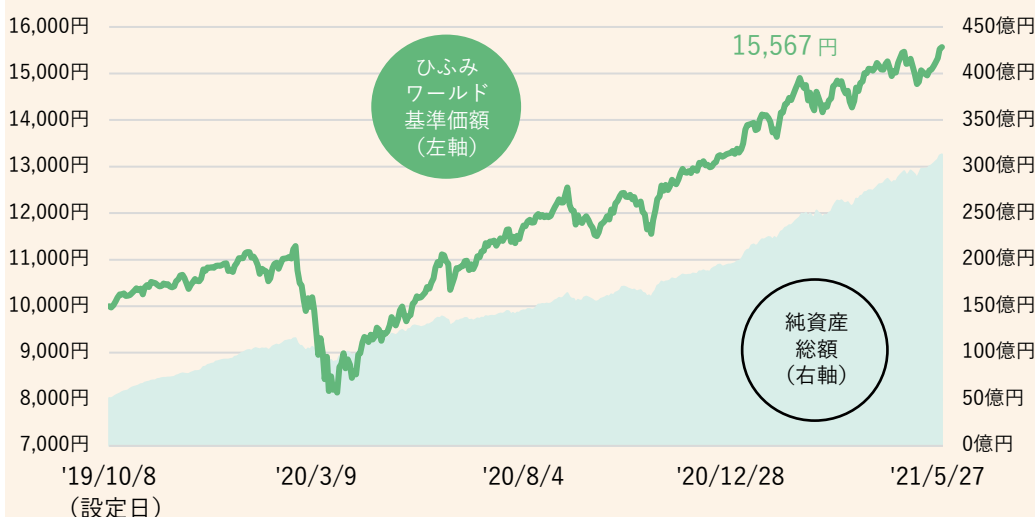
レオス・キャピタルワークスよりお客様へ  
資産形成のパートナーに「ひふみワールド」をお選びいただき、ありがとうございます。  
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2021年5月31日

### 運用実績

#### 基準価額等の推移（日次）



※当レポートで言う基準価額とは「ひふみワールド」の一万口あたりの値段のことで、また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

※「ひふみワールド」は、ひふみワールドマザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は「株式・投資証券」「為替」や「基準価額変動額」と合わない場合があります。「株式・投資証券」のうち、アメリカには米ドル建て、欧州にはユーロ、イギリス・ポンド、スウェーデン・クローナ建て、アジア・オセアニアには香港ドル建て等の株式・投資証券が含まれます。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

#### 運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみワールド	0.65%	8.85%	20.68%	50.03%	-	55.67%

#### ひふみワールドの運用状況

基準価額	15,567円
純資産総額	313.17億円
受益権総口数	20,118,253,479口

#### ひふみワールド 投資信託財産の構成

ひふみワールドマザーファンド	100.13%
現金等	-0.13%
合計	100.00%

#### 基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	+101円
〔内訳〕	
株式・投資証券	+6円
アメリカ	-117円
欧州	+78円
アジア・オセアニア	+45円
その他	+0円
為替	+116円
米ドル	+75円
ユーロ	+17円
香港ドル	+10円
その他	+14円
信託報酬・その他	-21円

#### 分配の推移（1万口当たり、税引前）

第2期	2021年2月	0円
第1期	2020年2月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

## 資産配分比率などの状況

### ひふみワールドマザーファンドの状況

純資産総額 1,984.11億円

組み入れ銘柄数 149銘柄

### 資産配分比率

海外株式 89.99%

海外投資証券 1.41%

現金等 8.60%

合計 100.00%

### 時価総額別比率

10兆円以上 23.46%

1兆円以上10兆円未満 51.22%

3,000億円以上1兆円未満 14.92%

3,000億円未満 1.81%

### 組み入れ上位10カ国 比率

1 アメリカ 59.16%

2 中国 9.13%

3 ドイツ 4.55%

4 フランス 3.49%

5 香港 2.14%

6 イギリス 1.89%

7 スウェーデン 1.71%

8 カナダ 1.64%

9 台湾 1.32%

10 アイルランド 1.26%

### 組み入れ上位10通貨 比率

1 米ドル 65.92%

2 ユーロ 8.70%

3 香港ドル 8.37%

4 中国元 1.75%

5 台湾ドル 1.32%

6 イギリス・ポンド 1.24%

7 デンマーク・クローネ 1.19%

8 スウェーデン・クローナ 0.93%

9 オーストラリア・ドル 0.86%

10 ノルウェー・クローネ 0.76%

### 組み入れ上位10業種 比率

1 資本財 12.28%

2 ソフトウェア・サービス 12.07%

3 各種金融 10.07%

4 半導体・半導体製造装置 8.36%

5 メディア・娯楽 6.32%

6 小売 6.08%

7 ヘルスケア機器・サービス 4.91%

8 耐久消費財・アパレル 4.11%

9 自動車・自動車部品 3.65%

10 消費者サービス 3.48%

※「資産配分比率」「時価総額別比率」「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10通貨比率」「組み入れ上位10業種比率」はマザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「時価総額別比率」は基準日時点のBloombergの情報を基に作成しております。

※「組み入れ上位10カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」は株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。



## 銘柄紹介（基準日時点の組入比率1~10位）

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
		銘柄紹介			
1	DEUTSCHE POST AG 	ドイツ	ユーロ	運輸	1.60%
		世界200以上の国・地域に展開するドイツ発の郵便・物流大手企業。ドイツ郵便の民営化を経て事業領域を拡大、国際輸送のDHLエクスプレス、フォワーディング、Eコマース向け物流サービス等を手掛ける。航空貨物や海上コンテナの需給がひっ迫する中で、自社アセットを活用して業績拡大中。			
2	GENERAL MOTORS COMPANY 	アメリカ	米ドル	自動車・自動車部品	1.35%
		米国の自動車メーカー。SUVやピックアップトラック等、アメリカ人好みの大型車を得意とする他、電気自動車の開発についても米系自動車メーカーでは最も経験を積んでおり、将来的な対策も万全。			
3	BROOKFIELD ASSET MANAGEMENT INC. 	カナダ	米ドル	各種金融	1.33%
		資産運用会社。株や債券などの伝統的資産ではなく、流動性の低い不動産、インフラ、プライベート・エクイティ、再生可能発電セクターに注力する。世界的な利回りの低下を背景に事業が拡大している。			
4	CAPITAL ONE FINANCIAL CORPORATION 	アメリカ	米ドル	各種金融	1.29%
		消費者向け総合金融。クレジットカード事業を祖業とするが、買収を通じて多角化し、店舗を有する銀行事業にも進出して、多様な消費者向けの金融サービスを提供している。			
5	ACCENTURE PLC 	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.26%
		コンサルティングサービス会社。経営・技術に関するコンサルティングサービスおよびソリューションを提供。世界中の各業種を対象とした特殊技術とソリューションに従事。			
6	FIRST REPUBLIC BANK 	アメリカ	米ドル	銀行	1.24%
		米国の地方銀行。顧客層を富裕層の個人に絞っており、堅調な米国住宅市場を背景に残高成長率も高い他、リレーションシップマネージャーが長期間かけて構築した良質な関係を背景に資産運用事業も新たな成長ドライバーとなるなど、低成長に喘ぐ銀行セクターでは珍しい成長企業。			
7	AMERICAN EXPRESS COMPANY 	アメリカ	米ドル	各種金融	1.22%
		クレジットカード会社。ネットワーク運営のみでなく、自社で最終顧客への与信、カード発行を行なう。コーポレートカード、航空、旅行、飲食での決済が多いことから、脱コロナ、正常化の恩恵が期待される。			
8	DISCOVER FINANCIAL SERVICES 	アメリカ	米ドル	各種金融	1.19%
		比較的クレジットの良好ではない消費者セグメントを対象にした消費者金融会社。Discoverという独自のブランドでクレジットカードを発行するのみならずネットワークの運営も行なっている。その他にも学費ローンや一般的な消費者金融事業も行なっている。			
9	TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED 	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.13%
		半導体製品設計・製造会社。アナログICおよび組み込みプロセッサを開発。世界各地で事業を展開。			
10	NVIDIA CORPORATION 	アメリカ	米ドル	半導体・半導体製造装置	1.13%
		画像処理装置(GPU)の世界的大手。引き続きゲーム用途や映像制作でも高い成長が見込める他にも、自動運転などに利用される画像の自動認識やAIなどへの用途拡大により成長率の高まりが期待される。			

※国は原則として発行国を表示しています。なお、国には地域が含まれます。

※業種は原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しています。

※組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

ご参考：市場動向

MSCI ACWI ex JAPAN(配当込み)(米ドルベース)の推移



当月騰落率 +0.65%

米ドル/円の推移



当月騰落率 +0.76%

ユーロ/円の推移



当月騰落率 +1.33%

香港ドル/円の推移



当月騰落率 +0.78%

※MSCI ACWI ex JAPAN（配当込み）はBloombergのデータを基に作成しております。なお、MSCI ACWI ex JAPANの当月騰落率は、基準価額への反映を考慮して、月末前営業日の指数値を基に算出しております。

※MSCI ACWI ex JAPANは当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。なお、MSCI ACWI ex JAPANは配当込みで、米ドルベースです。

MSCI ACWI ex JAPANは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国、新興国の株式を対象として算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

※為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値（TTM）です。



4月の米国CPI（消費者物価指数）が急上昇したことなどからインフレ懸念が高まり、5月前半の市場は軟調な展開でした。欧州、中国市場を中心に後半持ち直した結果、ひふみワールドの基準価額は前月末比0.65%上昇し15,567円となりました。

市場を牽引してきたグロース企業が割高感を理由に嫌気に押された一方、比較的割安に置かれた、いわゆるバリュー企業が堅調でした。テスラのイーロン・マスク氏が同社EV購入代金として暗号通貨（ビットコインなど）を利用する可能性を表明するも一転してこのサービスの中止を発表したこと、また中国金融当局も暗号資産関連サービスについてこれまでより厳しい措置を発表したことなどから暗号通貨が急落し、一部投資家の間で動揺が広がったことは、軟調な市場要因と考えられます。

欧州市場は経済再開が順調な滑り出しとなり、イタリアやフランスの株式市場を中心に上昇しました。一時軟調だった中国市場もインフレ懸念が後退したことから再び活発化しました。暗号通貨の下落や規制強化により、暗号通貨市場から株式市場に資金が向く可能性への期待も市場を支えたようです。

ひふみワールドは、市場物色の転換から調整局面となっている半導体や半導体製造装置、テクノロジー関連、欧米各国の経済再開進展から恩恵を受ける消費関連など、幅広く買い増しました。経済再拡大による金利先高感も継続的に高まりつつあることから、比較的割安な金融関連も合わせて増やしました。製造業だけではなく、金融、サービス産業などバランスよく組み入れ、一部のセクター、業種に偏らないポートフォリオ構築を常に目指しています。

引き続き皆様からお預かりした大切な資産を世界の成長企業等に投資し、よりよい未来を作る一助となるようなポートフォリオ構築を続けます。今後もひふみワールドをよろしく願いいたします。



代表取締役副社長  
未来戦略部長  
ひふみワールド運用責任者  
湯浅 光裕

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみワールドマザーファンドに関するご説明です。

※当資料では「ひふみワールドマザーファンド」のことを「ひふみワールド」と略する場合があります。

### 当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまでお客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。



## ワクチン接種・コロナ克服度合いで景況感格差

## 業績相場の米国株、出遅れ日本株も追走へ

主要国の経済活動や景況感は、新型コロナのワクチン接種率（＝ワクチン接種者数／人口）との相関が高くなっています。英国やカナダ、米国などでは5月末のワクチン接種率が50%を突破し、新規感染者数が沈静化に向かっています。EU（欧州連合）もワクチン接種率が40%に接近し、新規感染者数が大幅に減少しています。ワクチン接種が進み集団免疫獲得に近づいているこのような国々では活動制限の緩和が進み、経済再開・活発化の動きが強まり、消費者心理や企業マインドの改善が顕著になっています。一方で、ワクチン接種の遅延や、変異種拡大の脅威にさらされている国々では厳しい活動制限がとられ、景況感の低迷が続いています。

米国はバイデン政権のワクチン接種推進政策や大規模な財政政策などが寄与し、景況感の上ブレが際立っています。7月4日の独立記念日を目標に集団免疫獲得による「コロナからの独立」を勝ち取るとともに、復興計画（21世紀版ニューディール政策）を推進するスタンスです。また、いち早くコロナ抑制を果たした中国では高めの経済成長率をキープする政策がとられています（過剰債務問題や不動産バブル懸念などに警戒しながら引き締め気味の政策と、先端産業育成や産業構造の高度化、中小企業支援など、ブレーキとアクセルの両睨みの政策がとられています）。EUの景況感はワクチン接種率の上昇に伴い5月以降急回復しています。一方、日本はワクチン接種が欧米に比べて遅れ、景気低迷が続いてきましたが、夏場にワクチン接種が本格化し、景況感が好転に向かいそうです。

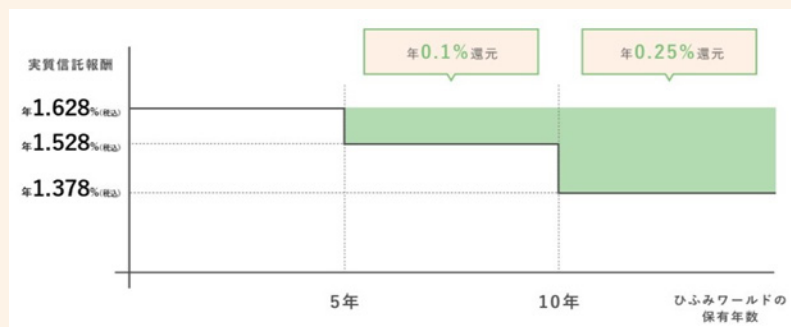
主要国の金融政策面では、経済正常化が進展する米国から大規模緩和政策の修正に動きそうです。FRB（連邦準備理事会）の金融政策の正常化は、①テーパリング（資産買入の減額）論議の正式開始、②テーパリング開始、③利上げの順番で進められると推察されます。米国経済の改善が進む中で、テーパリング論議の正式開始は早ければ6月15～16日のFOMC（連邦公開市場委員会）、あるいは集団免疫獲得が達成され、経済の正常化気運が高まる形で、8月のジャクソンホール経済シンポジウムや9月のFOMCあたりが有力候補になりそうです。それから3～6ヵ月前後（市場への周知徹底・混乱回避）の期間において、今年の年末頃～来年1Qあたりに実際のテーパリングが開始されるとみられます。ところで、2013年5～6月に当時のバーナンキFRB議長が市場の意表を突いてテーパリング論議の開始を表明したことで、リスク回避的な動きが強まり、債券・株式・ドルのトリプル安になりました（バーナンキ・ショック）。現在のパウエル議長は2013年のような混乱を避けるため、教訓を活かしながらマーケットとのコミュニケーションを十分に図るとみられます。

今後の主要国株式市場は、米国を先導役に経済活動の正常化と景気や企業収益の好転を支えに「EPS（1株当たり税引後利益）の拡大」が株価上昇の原動力になる業績相場が予想されます。一方でインフレ懸念の台頭と長期金利の上昇は波乱要因になりそうですが、足元にかけての米国などの物価上昇は一時的要因が大勢として市場の織り込みが進んでいます。総じて経済拡大による金利上昇（⇒PERの押下げ）よりもEPSの拡大が優る形で株価は上昇基調を辿るとみられます。出遅れていた日本株はワクチン接種の本格化でキャッチアップに転じそうです。リスク要因は①新型コロナの変異種拡大でコロナ禍継続、景況感や企業収益が低迷、②逆に景気や物価の過熱で早期引き締め観測が台頭、米長期金利が上昇するといった2つのケースが挙げられますが、業績相場が大勢と予想します。

(6月2日)

## 資産形成応援団

資産形成応援団とは、直販で5年以上保有いただいているひふみワールドについて、信託報酬の一部を当社がお客様に還元することにより、信託報酬を実質的に割り引く、という日本で初めて導入された仕組みです。



5年以上、または10年以上継続して保有されている受益権口数に対して応援金を還元いたします（受益権とはひふみワールドをご購入いただいたお客様が、ひふみワールドの利益を受けることができる権利のことです。）。

応援金還元率は受益権口数に係る資産残高の年率0.1%（5年以上分）、0.25%（10年以上分）です。応援金は、新たにひふみワールドを買付ける資金に充当いたします（原則として、現金のまま、お渡しすることはありません。）。

## ひふみラボnote、絶賛更新中！

<https://labo.rheos.jp/>

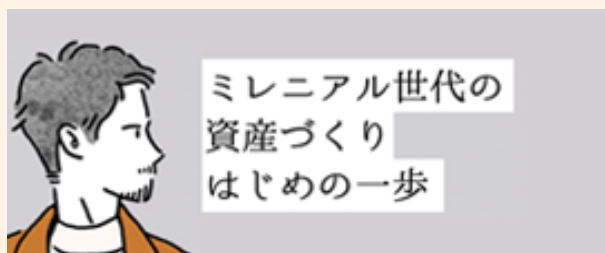
ちょっととっつきにくいと思われがちな「投資」のこと、「お金」のこと。本当の楽しさ、おもしろさを伝えたくて、あれこれ研究する「ひふみラボnote」では様々な角度で楽しめる記事を連載中です！



『くそつまらない未来を変えられるかもしれない投資の話』の著者であるヤマザキOKコンピュータさんによる連載です。



作家・北康利さんが、日本林学の父と呼ばれる本多静六氏の投資哲学を現代に伝える連載です！毎週金曜日更新！一緒に読書をしていきましょう！



ひふみラボnoteスタート時から人気の連載！noteのディレクターをされている平野太一さんが資産づくりに挑戦。貯金ゼロからのスタートで「お金とこれから」に、向き合っていました。

## 収益分配金の仕組みについて

- 収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」の区分があります。
- 収益分配金支払い後の基準価額が、そのお客様（受益者）の個別元本と同額の場合または上回っている場合には、当該収益分配金の全額が「普通分配金」となります。普通分配金は、配当所得として課税対象になります。
- 収益分配金支払い後の基準価額がそのお客様（受益者）の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が「元本払戻金（特別分配金）」となります。当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額は普通分配金となります。元本払戻金（特別分配金）は、実質的に元本の一部払い戻しとみなされ、非課税扱いとなります。お客様が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、その後の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

## 運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。  
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

### 今月のトピック

会社創立18年、当社の運用資産残高が1兆円を突破しました。それぞれの視点で感じることを教えてください。



Fujino Hideto  
藤野 英人  
代表取締役会長兼社長  
最高投資責任者

業界の大先輩のさわかみさんから、直販運用会社はいずれ豆腐屋のように単位をいっちょう、にちょうと数えるようになるんだと言われました。大先輩のさわかみさんよりは少しだけ早く「豆腐屋さん」になりましたが、私たちが今あるのも、さわかみさんらの先人の努力のおかげです。ひたむきに全力に運用をがんばっていきたいと思います。



Yuasa Mitsuhiro  
湯浅 光裕  
代表取締役副社長  
未来戦略部長

まだまだお客様の数や規模としては小さく、私たちが想像する未来への通過点です。もっと多くの、世界中のお客様のお役に立ちたいと思うと同時に、世の中がより良くなればと精進し続けます。これからも応援を賜ればと思っています。



Watanabe Shota  
渡邊 庄太  
運用本部長  
株式戦略部長  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

投資調査は不断であり、ひとつの通過点に過ぎないのですが、一方で日本経済からみればわたしたちの存在が一定の存在感を持ち始めつつあるとも思います。より多くのお客様にとって意義のある存在となれるように引き続き努めて参りたいと思います。



Yatsuo Hisashi  
八尾 尚志  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

私に加わった時点のAUMは200億そこそこでしたので、AUM1兆円というのはそれから50倍にまで成長したことになります。まさに皆様の応援のお陰だと深く感謝しております。深くお礼を申し上げます。実は私にはお客様から掛けられた一言がものすごく励みになっています。「僕の夢を乗せたんよ、頼んだよ、期待してるよ」そう聞いてお客様に握手を求められた時に感動したことを今も鮮明に覚えています。あの一言があったからこそ、ここまで来ることが出来たのだと本当に思います。あの時の気持ちをこれからも忘れることなく、またここが新たなスタート地点でもありますので、これまで以上に精進して参ります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします！！！！



Sasaki Yasuto  
佐々木 靖人  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

AUM1兆円達成については、お客様に感謝しかありません。一方で運用面は皆様からより一層のものを求められていることと受け止めています。額で誇るよりも、パフォーマンスで誇る運用会社になろうと日々考えています。



Wei Shanshan  
韋 珊珊  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

お客様が応援してくださったおかげで、奇跡のように18年で1兆円を突破したことに、本当に感謝・感激の気持ちでいっぱいです。レオスチームに加わってから3年以上過ぎましたが、この3年間の中でもいろんなイノベーションや変化が生まれ、ノウハウの蓄積やアイデアの進化が着実に進んでいると実感しております。これからもこのチームにとっても自信がありますし、引き続き努力して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



Takahashi Ryo  
高橋 亮  
シニア・アナリスト  
シニア・ファンドマネージャー

1兆円はもちろんひふみ、そしてそれを作る弊社のメンバーを信じて託していただいているお客様あってこそその数字です。これまでのお客様に今後も信じて託し続けていただくのみならず、新たなお客様にも信じて託していただけるよう、地味で地道な努力を続けてまいります。



## 運用メンバーからのメッセージ



Ono Shotaro  
小野 頌太郎  
シニア・アナリスト

1兆円を突破する過程で、沢山のお客様にお会いできたこと、またお客様から多くを学ばせていただいたこと、とても感謝しております。運用を通じてお客様の資産形成に貢献し、“びっくり”をお届けできるよう引き続き頑張ってまいります。



Katata Yuta  
堅田 雄太  
シニア・アナリスト

多くのお客様にひふみを信じて託していただいた結果としての運用資産残高1兆円突破に、身が引き締まる思いです。お客様からお預かりした資金を、より多くの成長企業に投資することにより、お客様の資産形成に貢献するとともに、明るい未来を創っていきたく思います。



Senoh Masanao  
妹尾 昌直  
シニア・アナリスト

一つの節目を経験でき感謝申し上げます。今後もレオスが提供する投資商品を通じ、投資理念を皆様と共有させていただきつつ、投資先企業が生み出す果実を、運用パフォーマンスといった形で皆様と分かち合いながら、ファンドを長期にわたり育てていきたいです。引き続きよろしくお願い致します。



Oshiro Shintaro  
大城 真太郎  
シニア・アナリスト

今年入社して早々、様々なイベントや寄せられるお客様の声を通じて、多くのお客様に支えられた会社、ファンドだと感じる場面が多かったですが、このような形で数字で現れて、さらに実感いたします。1兆円が特別な区切りだとは思いませんので、引き続きお預かりした資産を育て、またお客様と楽しくコミュニケーションができればと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。



Tada Kensuke  
多田 憲介  
アナリスト

新参者の私の役割はこれから10兆、100兆と成長していけるよう、全力を尽くすことです。一方で、数字としての成長は目の前のできることを必死に積み重ねていった結果として実現できるものと思います。楽しみながら調査に全うし、皆様に少しでも「ゆたかさ」が提供できるよう努力を積み重ねていきたいと思っています。



Miyake Kazuhiro  
三宅 一弘  
運用本部  
経済調査室長

お客様の資産を「長期の積立投資」などでお預かりし、日本や海外の成長企業に投資するスタイルや運用成果が支持を集めた結果だと感謝しています。さらに多くの支持を集められるように精進していきたく思います。引き続きよろしくお願いいたします。



Hashimoto Yuichi  
橋本 裕一  
マーケットエコノミスト

すべてのお客様に感謝しています。レオスのお客様は、お客様であると同時に、わたしたちの考え方に共感してくださる同志であるとも感じています。これからも仲間として、レオスのファンドと一緒に育てていただければ嬉しいです。

## ひふみワールドの特色

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

## ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

## ひふみらいとの特色（ご参考）

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

### 投資リスク

#### ■ 基準価額の変動要因

- 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

#### ■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

### ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
受託会社：(ひふみワールド)三菱UFJ信託銀行株式会社  
(ひふみ投信)三井住友信託銀行株式会社  
(ひふみらいと)三井住友信託銀行株式会社  
販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

### 各ファンドについてのお問い合わせ先



RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークス株式会社  
コミュニケーション・センター  
電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp  
受付時間：(2020年4月6日より)営業日の10時～16時  
ウェブサイト：<https://www.rheos.jp/>

## お申込メモ

	ひふみワールド	ひふみ投信（ご参考）	ひふみらいと（ご参考）
商品分類	追加型投信／海外／株式	追加型投信／内外／株式	追加型投信／内外／資産複合
当初設定日	2019年10月8日	2008年10月1日	2021年3月30日
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	解約の請求受付日の <u>翌営業日の基準価額</u> （1万口当り）		
換金代金	解約の請求受付日から起算して5営業日目から支払われます。		解約の請求受付日から起算して6営業日目から支払われます。
購入・換金 申込受付 不可日	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。	—	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

## お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみワールド	ひふみ投信（ご参考）	ひふみらいと（ご参考）
運用管理費用 (信託報酬)	信託財産の日々の純資産総額に対して <b>年率1.628% (税込)</b> を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して <b>年率1.078% (税込)</b> を乗じて得た額	ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して <b>年率0.55% (税込)</b> を乗じて得た額 投資対象とする投資信託証券(ひふみワールドファンドFOFs用(適格機関投資家専用))：純資産総額に対して年率0.0022% (税込) 実質的な負担※：純資産総額に対して <b>年率0.5522% (税込) 程度</b>
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055% (税込) を乗じて得た額。(上限年間99万円 (税込))	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055% (税込) を乗じて得た額。(上限年間88万円 (税込))	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055% (税込) を乗じて得た額。(上限年間99万円 (税込))
その他費用・ 手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。